



第 55 回 (平成 22 年 11 月 10 日) 定例会の講演要旨

手稲区誕生の頃を振り返って 区制 21 年目の手稲

初代手稲区長 笥石雄氏



お話の内容は手稲区誕生にいたるまでの経緯と街づくり、そして実際にそこに立ち会った人ならではの裏話などを織り交ぜながら、詳細で内容の濃い講話となり、誰もが一言も聞き漏らすまいと張り詰めた雰囲気漂っていました。

地域新時代の幕開け 7 区制から 9 区制へ

当時、西区は 29 万 6 千人と人口は増加の一途をたどり、きめ細かい行政サービス及び整った都市基盤作りのため、昭和 58 年、分区のプロジェクトを立ち上げることになりました。この 30 万に迫る人口を、2 分割 15 万 20 万人という方向性ながら、分区線(区界)に関しては、発寒が 2 分されるなど問題点も多く 59 年の線引き案から住民の理解を得られるまで 4 年の歳月を費やしました。ちなみに厚別は、川によって境がはっきりしていたためこの点はスムーズにいきました。

個性ある街づくり

手稲区は農業、商業、工業が隣り合わせの大変珍しい地域なので、その歴史と自然を融合させながら、区民がリクリエーションを楽しむことができる個性的な街づくりを目指しました。

フラワーロードには、花 5 万 700 株、桜 1,040 本が植樹され、一方では前田森林公園の造成にも力が込められました。

こうして数々の問題を乗り越えて、平成元年 11 月 6 日に手稲区が誕生しました。

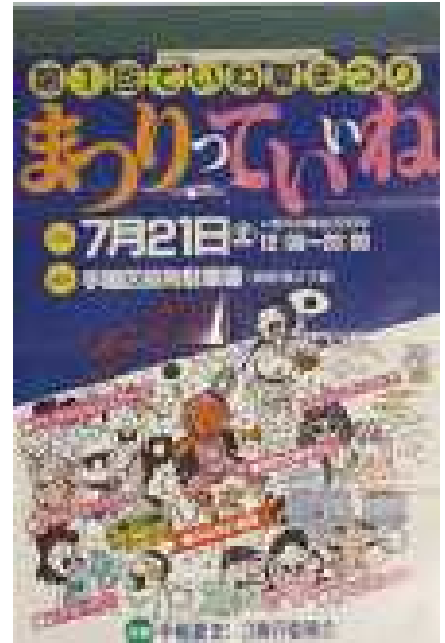
開庁当日までの凄まじいドキュメント

新区役所への引越し作業は 11 月 3 日(金)、11 月 4 日(土)(当時は半日だった)の両日行われた。ダンボールで約 1,500 個、机椅子 220 セット、キャビネット類 120 点、合計 1,840 点、4t トラック

約 50 台に及んだ。

そして、いよいよ当日

- 6 時 30 分 AM 窓口課の職員、準備作業のため早朝の出勤
- 8 時 15 分 窓口課長以下 24 名全員出勤。スタンバイ OK
(1 番乗りの女性来庁)
- 8 時 45 分 庁内各課、業務開始。すでに開始前 30 人が
並んだが対応は 5 分以内の順調なスタート
- 9 時 板垣市長、開所式出席のため来庁
- 9 時 20 分 IF ロビー壁画レリーフの除幕式(上野憲男製
作) (手稲ライオンズクラブ寄贈)
- 9 時 30 分 区民ホールで開所式。(舞台用緞帳は手稲オリ
ンピア王子緑化道支店寄贈)
- 4 時 15 分 PM 窓口業務終了。1,067 件。苦情なし。
(筧 区長はじめ職員の方々のホッとしたお顔が浮かび、こちらまで胸が熱くな
りました)



平成 2 年 7 月 21 日 「第 1 回ていね夏まつり」には 25,000 人の人が集まりました。この時の「まつりっていいね」から「ていねっていいね」のキャッチコピーが生れたそうです。今回の定例会にこのキャッチコピーをつくられた職員の方も参加されました。うしろ姿に「すばらしいですよ。ありがとう」と心の中で声をかけました。 (文責：高木秀子)

所感

よく前田森林公園に足を運びます。自然の美しさもさることながら、人と犬の幸せそうなふれあいを目にできるのもここの特徴でつい長居してしまいます。

それにしても飼い主と犬は、なぜこうも顔も仕草も似ているのでしょうか？

次回の予定

次回(1月12日)は、元 稲穂金山まちセン所長 丹羽紀美氏の講演「手稲金山の道庁公宅で過した思い出」と佐々木光男・明井久嘉両氏の会員研究「新発寒まちづくりの歩み」を予定しております。

体格のいささか立派すぎる中年のご夫婦とセントバーナード犬。「お子さんですか?」とつい聞いてみたくになります。そしてキャンキャンとうるさい小犬に、そっくりのキンキン声で叱るヒステリックな女性。いつも笑いが止まらなくなります。

構想通り、まさに自然と区民の憩える場所です。

(高木秀子)